

第 181 回 材料学会岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 18 年 5 月 24 日（水）13：30－17：30

場 所：京大会館 212 号室（〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 15-9）

出席者（敬称略）：大西有三（委員長）、芦田 讓、石川浩次、上田敏雄、打田靖夫、菊地宏吉、北川 隆、清木隆文、高橋健二、竹村貴人（講演者）、谷 和夫（講演者）、近久博志（講演者）、西山 哲、村田澄彦、安田 享、笹尾春夫（幹事）、以上 16 名。

1. 委員会報告、審議

(1) 第 180 回岩石力学部門委員会 議事録(案)（資料 181-01）

笹尾幹事より説明、承認された。

(2) 17 年度決算、18 年度予算報告（資料 181-02）

平成 17 年度収支決算書、平成 18 年度収支予算書について笹尾幹事より説明、承認された。なお、今後、委員会の企画として講習会の開催を検討し、多数の参加者が見込める講師を選任する必要があることを確認した。

(3) 第 55 期総会、学術講演会（資料 181-03）

オーガナイズドセッション「新生代の地層におけるロックメカニクスに関する諸問題」のプログラムについて笹尾幹事より説明があった。

(4) 岩の力学連合会の報告（資料 181-04-1、資料 181-04-2）

第 3 回常任理事会、専門幹事会の議事録より関連箇所について笹尾幹事より説明があった。また、次回国内コンGRESS（2007 年山口宇部）の開催概要について近久氏より補足説明があった。

平成 17 年度岩の力学連合会賞受賞者について選考委員会委員の笹尾幹事より報告があった。

(5) 材料学会からの通達、依頼事項（資料 181-05-1、資料 181-05-2）

学会よりの通達資料「第 50 回日本学術会議材料工学連合講演会（仮称）に関するご協力依頼」について笹尾幹事より説明があった。当部門委員会としてはオーガナイズドセッションへの参加は見送る。

学会よりの通達資料「出前講義（仮称）が可能な講習会案一覧」について笹尾幹事より説明があった。

(6) 会誌「材料」特集号について

5 月号が岩石力学特集号であった。次回特集号は 2007 年 9 月発刊予定。原稿締め切りは 2006 年 12 月となる。今回の特集号では、論文投稿数が直前まで予測できなかった。そのため、次回については各委員毎に個別に依頼し、論文数を調整することとする。

(7) 18 年度見学会

波方LPG備蓄基地（愛媛）、瑞浪超深地層研究所（岐阜）、高山ドーム（岐阜）等の候補地がある。波方の見学を検討する。

(8) その他

次回第182回委員会は、8月4日（金）、京大会館において開催する。

2. 講演

以下の3題で講演をいただき、討議を行った。

(1) 原位置岩盤三軸試験方法の開発

横浜国立大学 大学院 工学研究院 土木工学教室 教授 谷 和夫 氏

(2) 岩盤工学の分野におけるニーズ型研究開発への取り組みと課題

山口大学 地域共同研究開発センター 教授 近久 博志 氏

(3) Crack density and wave velocity change with damage growth in Inada granite

産業技術総合研究所 深部地質環境研究センター 研究員 竹村 貴人 氏

資料：

資料 181-01 第180回岩石力学部門委員会 議事録（案）

資料 181-02 岩石力学部門委員会決算予算（確定）

資料 181-03 学術講演会_オーガナイズドセッション

資料 181-04-1 岩の力学連合会 第3回常任理事会・専門幹事会 議事録

資料 181-04-2 平成17年度岩の力学連合会賞受賞者決定のお知らせ

資料 181-05-1 第50回日本学術会議材料工学連合講演会（仮称）に関する協力依頼

資料 181-05-2 出前講義が可能な講習会案一覧について